

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地歴 科目 歴史総合

教科： 地歴 科目： 歴史総合 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 組

教科担当者： （ 1 組：西田 真 ）

使用教科書： （ 帝国書院「明解 歴史総合」 ）

教科 地歴 の目標：

- 【知識及び技能】 歴史の特徴や転換点となる事象について基礎的な知識を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断する力や、議論する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 学習に興味関心を持ち、歴史を主体的に学ぶ資質・能力を育成する。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史の基本的な知識を身に付け、日本や世界がどのように現代の姿になったのか大観する。	記述や資料から情報を読み取ったり、他者との意見交換を通して、歴史を考察し、表現する。	学習に興味関心を持ち、歴史を主体的に学ぶ資質・能力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	歴史の扉 【知識及び技能】 歴史を学ぶための基礎知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日本と世界の横のつながりと、年代の縦のつながりを捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史に関心を持つ。	・年代の表し方 ・時代区分 ・日本の地域区分 ・世界の主な国 ・資料を基に問いを立てる	【知識・技能】 ・年代や地域区分の基礎的な知識を身に付けているか。 【思考・判断・表現】 ・歴史の横と縦のつながりを捉えられているか。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	9
	江戸時代の日本と結びつく世界 【知識及び技能】 江戸時代成立期の時代背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、意思決定の過程を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	・アジアの中の江戸幕府 ・成熟する江戸社会 ・清の繁栄と結びつく東アジア ・アジア、アメリカに向かうヨーロッパ	【知識・技能】 ・江戸幕府成立期の世界について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○	○	○	6
	欧米諸国における近代化	・イギリスの革命とアメリカの独立		○	○	○	1
	定期考査			○	○		1
	欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 フランス革命からナショナリズム形成の過程を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 倫理的な視点を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	・フランス革命 ・フランス革命の影響と国民意識の芽生え ・産業革命で変わる社会 ・イギリス繁栄と国際分業体制	【知識・技能】 ・フランス革命と産業革命について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○		○	9
	近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 19世紀後半の世界の変化を捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	・1848年近代ヨーロッパの転換点 ・イタリア、ドイツの統一とロシアの近代化 ・アメリカの拡大と第二次産業革命 ・帝国主義と世界の一体化	【知識・技能】 ・19世紀後半の世界に於いて、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>アジア諸国の動揺と日本の開国</p> <p>【知識及び技能】 江戸幕府開国に至るまでの背景を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ・南、東南アジアの植民地化 ・ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 ・黒船の来航と日本の対応 ・新体制の模索と江戸幕府の滅亡 	<p>【知識・技能】 ・江戸幕府開国に至るまでの背景を理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</p>	○	○	○	8
	<p>第一次世界大戦と日本の対応</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦に至るまでの背景を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツの緊張とバルカン半島の緊張 ・総力戦となった第一次世界大戦 ・ロシア革命と大戦の終結 	<p>【知識・技能】 ・第一次世界大戦の背景について、基礎的な知識を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</p>	○	○	○	8
	<p>国際協調と大衆社会の広がり</p> <p>【知識及び技能】 ヴェルサイユ体制と大衆社会に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ体制の成立 ・東アジアの民族自決の行方 ・中等、インドの民族自決の影響 ・ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ・大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ・日本における大衆社会の形成 	<p>【知識・技能】 ・ヴェルサイユ体制と大衆社会について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>日本の行方と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 第二次世界大戦に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌が与えた影響 ・ファシズムの台頭と拡大 ・政党政治の断絶と満州事変 ・日中戦争の始まり ・第二次世界大戦の展開 ・戦局の悪化と被害の拡大 ・第二次世界大戦の終結とその惨禍 	<p>【知識・技能】 ・第二次世界大戦について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>再出発する世界と日本</p> <p>【知識及び技能】 戦後の世界に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の新たな国際秩序 ・冷戦の始まり ・日本撤退後の東アジア ・日本の改革と独立の回復 	<p>【知識・技能】 ・戦後の世界について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</p>	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計
							88

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教科： 数学 科目： 数学Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 組

教科担当者： （1 組： 木村）

使用教科書： （ 数Ⅰ708 「高校数学Ⅰ」 実教出版 ）

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
5章 データの分析 1節 データの分析 1. 統計とグラフ 2. 度数分布表とヒストグラム 3. 代表値 4. データの散らばり 5. 外れ値 6. 相関関係 7. 仮説検定の考え方 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 色々な調査などによって得られたデータを棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフ、などにまとめる。 ・度数分布表 ・ヒストグラム ・与えられたデータの代表値を求める。平均値、中央値、最頻値 ・与えられたデータの四分位範囲、四分位偏差を求める。 ・与えられたデータの5数要約し、箱ひげ図に表す。 ・与えられたデータの分散、標準偏差を求める。 ・2つのデータの散布図を表す。相関関係を把握し、相関係数を求める。	【知識・技能】 (発問評価・課題提出・定期考査) 【思考・判断・表現】 3. データの代表値(2) ○最頻値、中央値、平均値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 ○どの代表値を用いるのが適切なかが場面によって変わってくることを理解している。 ○データの代表値から、その特性や傾向などを考察しようとする。 4. データの散らばり (3)四分位数の定義を理解し、四分位数を求めることができる。 ○四分位範囲、四分位偏差の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。 ○箱ひげ図をかくことができる。 ○外れ値について理解している。 ○分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、分散、標準偏差を求めることができる。 ○四分位範囲や箱ひげ図をもとに、中央値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。 ○標準偏差をもとに、平均値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 【主体的に学習に取り組む態度】 データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 (授業態度・課題提出)	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
4章 集合 1. 集合と照明 2. 命題と照明 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 ○集合を、要素を書き並べて表すことができる。 ○共通部分、和集合、空集合について理解している。 ○2つの集合の包含関係を判定することができる。 ○全体集合、補集合について理解している。 (発問評価・課題提出・定期考査) 【思考・判断・表現】 ○集合に関する記号を、適切に用いることができる。 ○ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 【主体的に学習に取り組む態度】 ○集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。 (授業態度・課題提出)	○	○	○	15

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 理科 科目 生物基礎

教科: 理科 科目: 生物基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組

教科担当者: (1組: 長田 和子)

使用教科書: (新編 生物基礎 (東京書籍))

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の特徴についての観察・実験などを通して、生物の多様性や共通性、免疫の働きや植生など、生物に関する知識を身に付ける。また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編生物の特徴 1章生物の特徴 【知識及び技能】 ・生物の多様性と共通性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物の多様性と共通性について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生物の多様性と共通性について知識を習得しようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第1編生物の特徴 2章生物とエネルギー 【知識及び技能】 ・生体内のエネルギーについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生体内のエネルギーについて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生体内のエネルギーについて知識を習得しようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	10
	2編遺伝子とそのはたらき 第1章 遺伝子情報とDNA 【知識及び技能】 ・遺伝子について理解している。 ・DNAについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遺伝子について説明できる。 ・DNAについて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・遺伝子について知識を得ようとしている。 ・DNAについて知識を得ようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2学期	<p>2編遺伝子とそのはたらき 第2章 遺伝子情報とDNA</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> たんぱく質について理解している。 細胞の分化について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> たんぱく質について説明できる。 細胞の分化について説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> たんぱく質について知識を得ようとしている。 細胞の分化について知識を得ようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材 教科書 プリント 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出席状況 ・プリント 	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	<p>3編ヒトの体の調節 1章ヒトの体を調節する仕組み</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体内環境について理解している。 生体内の情報伝達について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体内環境について説明できる。 生体内の情報伝達について説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体内環境について知識を得ようとしている。 生体内の情報伝達について知識を得ようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材 教科書 プリント 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出席状況 ・プリント 	○	○	○	7
	<p>3編ヒトの体の調節 2章免疫の働き</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 免疫について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 免疫について説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 免疫について知識を習得しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材 教科書 プリント 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出席状況 ・プリント 	○	○		7
	定期考査			○	○		1

3 学 期	4編生物の多様性と生態系 1章植生と遷移 【知識及び技能】 ・植生と遷移について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・植生と遷移について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・植生と遷移について知識を得ようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	8
	4編生物の多様性と生態系 2章生態系と生物の多様性 【知識及び技能】 ・生態系と生物の多様性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生態系と生物の多様性について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生態系と生物の多様性について知識を得ようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 組

教科担当者: (1 組: 中村 内田)

使用教科書: (現代高等保健体育 大修館書店)

教科 保健体育

の目標:

【知識及び技能】 運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

科目 体育

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種目の歴史やルールを知り、簡単な動きから複雑な動きを習得できるようにする。其々の運動種目の体の動きの着目し、より効果的かつ合理的な体の使い方ができるようにする。	体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うことができるようにする。	運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 ・卓球	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 水泳	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
2 学期	・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 水泳 陸上	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
	・体力や運動の能力など、程度や性別等の違いを超えて仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 ・バレーボール ・バドミントン	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
3 学期	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 ・バスケットボール 持久走	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	14
							合計
							78

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

保健体育 科目: 保健

単位数: 1 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 組

教科担当者: (1組: 中村) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (現代高等保健体育 大修館書店)

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】 運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

科目 保健 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実生活における健康の増進を図るための必要な知識を身に着ける。救急措置法などを知る事で実生活に生かせるようにする。	身体的・精神的・社会的な健康の条件について理解し自身の生活や健康を向上できるような生活習慣を含め考える。個人の健康を守るための社会的な要件を考え、行動できる知恵を考え実践できるための工夫をする。	主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた考えなどを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとするなどや健康・安全を確保することができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 【知識及び技能】 実生活における危険なシチュエーションを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 事故を防ぐ方法を、それぞれの体験談などを交えて学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 応急処置の基本を知り校外を問わず実践できるよう学ぶ。	・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当	【知識・技能】 ・ねらいに応じて必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	2
B 単元 【知識及び技能】 ライフステージと健康の関連について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各ライフステージで活用できる社会からの支援について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習した内容を踏まえて、実生活における行動変容を意識する。	・ライフステージと健康	【知識・技能】 ・ねらいに応じて必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	3
1 学期 C 単元 【知識及び技能】 思春期における体の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 性意識の男女差を理解し、性情報が行動に及ぼす影響を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択	【知識・技能】 ・ねらいに応じて必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	5
D 単元 【知識及び技能】 妊娠・出産におけるメカニズムを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 妊娠・出産の家庭における健康課題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 妊娠・出産における体の機能を知り、自他の健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習する。	・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶	【知識・技能】 ・ねらいに応じて必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1
E 単元 【知識及び技能】 各ライフステージにおける様々な健康課題について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し人生を豊かにする方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習した内容を踏まえて、実生活に必要な行動変容を意識する。	・結婚生活と健康 ・中高年期と健康	【知識・技能】 ・ねらいに応じて必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	8
2 学期 F 単元 【知識及び技能】 働くことの意義と健康の関りについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 働き方や働く人の健康問題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 働くことを意識し、将来の人生設計を考える。	・働くことと健康 ・労働災害と健康	【知識・技能】 ・ねらいに応じて、必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	8
G 単元 【知識及び技能】 保健行政の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 保健・医療サービスの活用の例を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習を踏まえ、実生活に必要な行動変容を意識する。	・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその健康	【知識・技能】 ・ねらいに応じて必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	4
3 学期 H 単元 【知識及び技能】 健康に関連する環境づくりについて説明する。 【思考力、判断力、表現力等】 健康づくりへの主体的な参加がどの様に自他の健康に繋がるのかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習を踏まえて健康政策について考えたり、自身の生活に活かしたりしていく。	・健康に関する環境づくりと社会 参画	【知識・技能】 ・ねらいに応じて必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	3
						合計
						39

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 情報 科目 実生活と情報

教科：情報 科目：実生活と情報 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～ 組
 教科担当者：（1組：山口）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（なし）
 教科 情報 の目標：

- 【知識及び技能】問題解決の方法について学ぶ。コミュニケーションの多様化について学ぶ。データベースの管理と操作について学ぶ。データの分析と分類の方法について学ぶ。
- 【思考力、判断力、表現力等】不正アクセス、情報漏洩などの具体的な事例を調べることができるようになる。情報デザインが効果的に用いられる場合について学ぶ。人工知能と仕事の関係について考える。
- 【主体的に学習に取り組む力】コンテンツの発信をどのように行うか考える。データベースの構築を自ら考え作成することができるようにする。

科目 実生活と情報 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む力】
問題解決の方法について学ぶ。コミュニケーションの多様化について学ぶ。データベースの管理と操作について学ぶ。データの分析と分類の方法について学ぶ。	不正アクセス、情報漏洩などの具体的な事例を調べることができるようになる。情報デザインが効果的に用いられる場合について学ぶ。人工知能と仕事の関係について考える。	コンテンツ制作、コンテンツの発信をどのように行うか考える。また、簡易なデータベースを作成し、運用ができるように考える

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	単元 問題解決 【知識及び技能】 問題解決の方法について学ぶ。情報社会の進展と情報技術について知識を深める。情報社会の進展と情報技術について学ぶ。不正アクセス、情報漏洩などの具体的な事例を調べることができるようになる。	・指導事項 情報技術の発展と生活の変化を理解する。情報システムによる情報の流れを体験し、理解する。情報モラルや法整備の重要性を理解する。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 問題解決学習のステップを理解できる。情報システムとそれを表現している情報の流れを理解する。情報システムの活用と、社会への影響を知る。 【思考・判断・表現】 情報システムの流れや特徴を考えること 【主体的に学習に取り組む態度】 過去の事例から具体的にまとめようとしている。	○	○	○	8
	単元 情報デザイン 【知識及び技能】 コミュニケーションの多様化について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 情報デザインが効果的に用いられる場合について学ぶ 【主体的に学習に取り組む力】 コミュニケーションの具体例を知る	・指導事項 コミュニケーション手段の分類や特徴を調べる。コミュニケーションの手法によってどのように情報が伝わるかを研究する。効果的なコミュニケーションのためのデザインを学習する。 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 状況に適したコミュニケーション手段を考え、選択することができる。 【思考・判断・表現】 コミュニケーション手段の分類や特徴を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業から多様な意見を粘り強く、まとめようとしている。	○	○	○	6
	単元 メディア 【知識及び技能】 メディアの特性と利用とコミュニケーションの多様化について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 学校をPRする手段を考える 【主体的に学習に取り組む力】 コンテンツ制作、コンテンツの発信をどのように行うか考える	・指導事項 メディアの特性について学習する。アクセシビリティやユニバーサルデザインを考えた情報コンテンツの作成を学習する。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 メディアの特性を理解できる。 【思考・判断・表現】 特性に応じたメディアの利用を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、学校PR方法を考えようとしている。	○	○	○	4
	単元 人工知能と仕事 【知識及び技能】 人間の知的活動への影響について学ぶ。機械学習と人工知能 【思考力、判断力、表現力等】 人工知能と現代社会における活用について考える。 【主体的に学習に取り組む力】 人工知能についての考察を深める	・指導事項 身近な情報システムや人工知能の影響などの問題について学習する。ニューラルネットワークや人工知能を知る。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人工知能、機械学習、の関係を理解できる。 【思考・判断・表現】 情報技術や人工知能の課題を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会における人工知能の役割についてクラスメートと主体的に話し合える。	○	○	○	2
2 学 期	単元 モデル化 【知識及び技能】 モデル化とはなにかについて学ぶ【思考力、判断力、表現力等】 モデル化の評価と検証について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む力】 ガチャが何回当たるかをモデル化を元に考えることができる。	分析の結果できたモデルが適切かどうかを考える必要性を学習する。 ・ガチャのモデル化とシミュレーションを行う。モデルの数式の一部を変化させ、より適切なモデルを検討したり、考察をしたりする。	【知識・技能】 ・モデル化を理解できる。・モデル化の精度を上げる方法を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・モデルの適切性を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・より適切なモデルを検討し考察することができる。	○	○	○	6
	単元 情報セキュリティ技術 【知識及び技能】 情報セキュリティについて学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 情報セキュリティをより効果的に使う為にはどうすべきかを考える。 【主体的に学習に取り組む力】 情報セキュリティについて考えた結果を発表する。	情報セキュリティのための3原則を学ぶ。情報セキュリティを高めるための技術を学習する。暗号化の技術、特に共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式の仕組み、違いを理解する。	【知識・技能】 ・情報セキュリティの基本的な考え方やセキュリティポリシーを理解できる。 【思考・判断・表現】 セキュリティ技術を効果的に使える方法について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報セキュリティについて積極的に自分の意見を述べることができる。	○	○	○	4
	単元 情報システム 【知識及び技能】 情報システムとはなにかを学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 情報システムの仕組みについて考えることができる 【主体的に学習に取り組む力】 現在の情報システムについて考察することができる。	どのような情報技術を活用し、身近な生活を支える情報システムが実現されているかを理解する。仮想通貨や電子マネーなど、情報システムのサービスの利用が生活に与える効果と影響を考える。情報システムの評価のための基本的な考え方を調べる。情報システムの信頼性の重要性を理解し、考え方を調べる。	【知識・技能】 情報システムの信頼性の重要性を理解し、そのための考え方を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・情報システムのサービスを利用することによる暮らしの変化、効果や影響を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会における情報システムや電子マネーの種類を調べてレポートを作成することができる	○	○	○	3
	単元 データの収集と整理 【知識及び技能】 データベースの管理と操作・収集・整理の仕方について学ぶ。 データの分析と分類の方法について学	・指導事項 データの収集方法と収集されたデータの整理の仕方や注意点を理解する。データを実際に収集し、整理することでデータの収集と活用する方法を身につける。相	【知識・技能】 ・データの収集と収集されたデータの整理する方法を理解できる。 【思考・判断・表現】 適切な欠損値の扱いを考えることができる	○	○	○	6

	<p>【思考力、判断力、表現力等】 データの分析と分類の方法を実践する 【主体的に学習に取り組む力】</p>	<p>関係と因果関係の違いを理解する。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して積極的にデータの収集を行い、分析した結果をほかの人にわかりやすいように整理し、考察結果をまとめている。</p>	○	○	○	○
3 学 期	<p>単元 情報システムの設計 【知識及び技能】 問題解決の計画進行について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 どのようにすればシステム化できるか考える。 【主体的に学習に取り組む力】 考えた結果を発表する。</p>	<p>情報システムの設計の流れを学習する。 プロジェクト・マネジメントとは何か、計画進行を管理するツールについて学習する。情報システムを作成するためにチームを作り、プロジェクト管理を行い、データベース開発をする。</p>	<p>【知識・技能】 ・情報システムの設計の流れや考え方を理解できる。 ・プロジェクト・マネジメントとは何かを理解できる。 【思考・判断・表現】 システム開発のための役割分担をし、進捗表を使ってプロジェクト管理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 システム開発において、責任をもって自らの担当に</p>	○	○	○	4
	<p>単元 POSシステムを作ろう 【知識及び技能】 POSシステムの考え方を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 データベースの構築について考える。 【主体的に学習に取り組む力】 データベースの動作について確認できる。</p>	<p>POSシステムやデータベースの種類を学習する。要件定義の考え方や使用するアプリケーションの使い方を学習する。作成したデータベースの動作を確認する。</p>	<p>【知識・技能】 ・POSシステムが社会でどのように扱われているか重要性とその実現を行うための方法が理解できる。 【思考・判断・表現】 ・POSシステムを理解できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・データベース作成に積極的にかかわり、自らの担当を責任をもって取り組んでいる。</p>	○	○	○	9
							合計

